

ミュージシャンも
観客も満足させる、
こだわりのLive Barを演出。

Live Bar「D.III」様



白と黒でコーディネートした空間は、LEDライトで演出することで幻想的な雰囲気

そこに、TOA…

本格的なライブと素敵なバーの両方を満喫できるライブバーとして、注目を集めている「D.III」様。

ミュージシャンに気持ちよくライブを行ってもらい、それを見たお客様に心から楽しんでいただく、そのお客様を見てくださいミュージシャンが乗ってくる…。D.III様では、そうした相乗効果をコンセプトに音づくりや空間づくりを追求されています。奥行きよりも横が広い独特の客席レイアウトにも、スピーカーの位置や角度を独自の手法で調節するなど、どこにいても快適な音を聞けるように配慮しているのもその一つ。隅々にまできちんとこだわった空間は居心地も良く、快適に仕上がっています。

ロックやジャズ、ゴスペルなど、D.III様のジャンルを問わない多彩なライブを支える音響設備には、TOAのコンパクトアレイスピーカー「HX-5W」やコンパクトアレイスピーカー サブウーハー「FB-120W」などをご採用いただいています。白と黒で統一したスタイリッシュな空間に、音響設備では珍しい白い器材でコーディネート。それらはLEDライトで照らし出されることで幻想的な表情を見せ、優れた音質とともにミュージシャンとお客様を楽しませてくれます。



フロアモニタースピーカー「SR-M3L/R」

上段/コンパクトアレイスピーカー「HX-5W」
下段/コンパクトアレイスピーカー サブウーハー「FB-120W」

施主：Live Bar D.III様

設計：シゲノワークオフィス / 有限会社D.C Pro

施工：有限会社AstroServe

アクセス：大阪市営地下鉄御堂筋 西中島南方駅 北口より徒歩3分

URL：http://www.dcpro.jp/d3_top.html



株式会社 ディー・スリー
Live Bar D.III
代表取締役社長
サウンドエンジニア
鈴木啓三様

私自身が音のエンジニアなので、音には特に気を遣いました。ライブを観ている側の意見だけではなく、演奏する側の意見にも耳を傾け、双方に満足いただけるように、試行錯誤を繰り返して、辿り着いたのがこのLive Bar D.IIIです。当初は、思うような音づくりができず、オープンを延期しようかと考えたりましたが、今では特別な宣伝活動をしていないにもかかわらずクチコミでミュージシャンやお客様が広がるまでに至りました。これからも今の音に満足するのではなく、よりいい音を目指していくことで、お客様の期待に応えていきたいと思っています。

NEW LINEUP!

デジタルレコーダー(16局用・9局用)

内蔵大容量HDDに長時間の高画質記録を実現。



16局デジタルレコーダー
C-DR161D6 16局 600GB HDD内蔵 DVD-Rドライブ装備
 希望小売価格 ¥892,500 (税抜 ¥850,000)



9局デジタルレコーダー
C-DR091D6 9局 600GB HDD内蔵 DVD-Rドライブ装備
 希望小売価格 ¥735,000 (税抜 ¥700,000)



9局デジタルレコーダー
C-DR091-3 9局 320GB HDD内蔵
 希望小売価格 ¥577,500 (税抜 ¥550,000)



リモートコントローラー
C-RM1000
 希望小売価格 ¥152,250
 (税抜 ¥145,000)



インターフェースユニット
C-RF1000
 希望小売価格 ¥47,250
 (税抜 ¥45,000)

ここがポイント!

120IPSの高密度録画

録画レートは最大120IPS()の高フレームレート。カメラ2台までならフル動画の録画が可能です。

IPSとは1秒間に録画する映像の枚数のことです。

720×240ピクセルの高画質録画

録画方式には「モーションJPEG」を採用し、720×240(pixel)の高精細な映像を録画できます。

HDDに録画された映像の簡単外部取り出し

HDDに録画されている映像をDVD-RあるいはUSBメモリーにコピーして簡単に外部に取り出せます。取り出した映像は、パソコンで確認できます。

C-DR091-3はUSBメモリーのみ可能。

DVD-R、USBメモリーへコピーしたデータは本機では再生できません。

600GB HDD内蔵 C-DR161D6、C-DR091D6)

内蔵記録媒体として大容量600GBのハードディスクを搭載。

録画 / 再生画面表示 / ライブ画面表示が同時に

同じ画面上にHDD内に録画されたデータの再生映像とライブ映像の同時表示が可能。かつ、その間も録画は継続して行っています。

ネットワーク対応

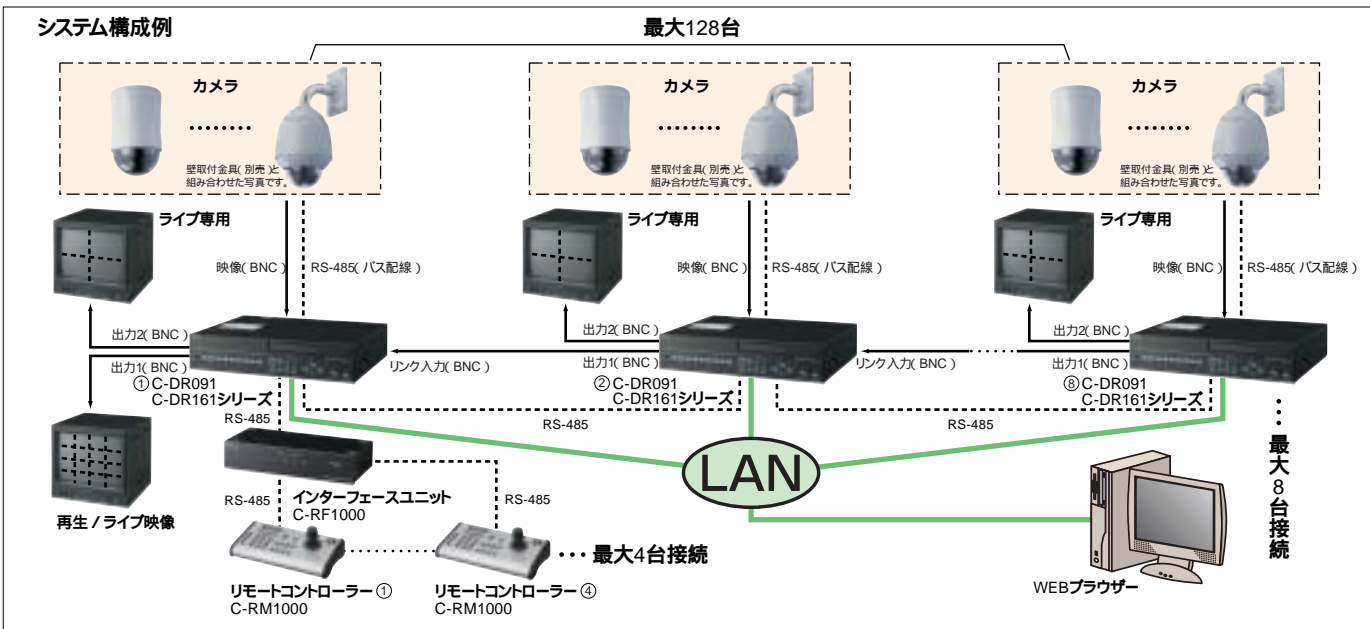
インターネットやLAN等を経由し、遠隔地のパソコンからデジタルレコーダーの操作や録画映像の検索/再生、ライブ映像の表示を行うことができます。アラーム発生時のメール送信機能を搭載しています。(テキストのみ)

セキュリティ機能

パスワードとUSBメモリーによるユーザーログイン機能を搭載しています。パスワードあるいはUSBメモリーキーを使用することで、本機の操作できる項目や設定の変更制限をかけることができます。

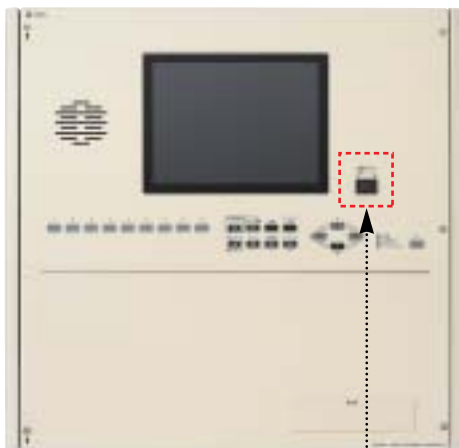
大規模システムの構築

最大4台のリモートコントローラー(別売:C-RM1000)から、最大8台のデジタルレコーダーと最大128台のコンビネーションカメラの操作を行える大規模システムの構築が可能です。下記システム構成例参照。



壁掛型デジタルレコーダー(9局用)

あらゆる機能をコンパクトに凝縮した壁掛型デジタルレコーダーがさらに使いやすくリニューアルしました!



壁掛型9局デジタルレコーダー
C-DV092W-6
オープン価格

リニューアルポイント!

ネットワーク対応が可能に

10BASE-T / 100BASE-TXのネットワークを経由してパソコンで遠隔監視、録画映像の検索 / 再生、カメラの操作、メニューの設定、HDDに録画した映像のダウンロードが行えます。



ライブ配信画面



再生配置画面



リモートコントロール画面

画面は8分割構成です。

メール送信機能を搭載(アラーム発生時)

内蔵モニター専用電源スイッチを追加

スピーカーシステム F-1000 / F-2000シリーズ

ハイレベルな音質とデザインが求められる店舗や商業・公共施設など、固定設備音響市場に幅広く対応する、信頼性の高いスピーカーシステムです。

ここがポイント!

室内の音響バランスを保ちつつ、広範囲をカバー

広い指向性を持たせることにより、室内の音響エネルギーバランスを低域から高域まで、よりフラットに保ちつつ、広い範囲を均一にカバーできます。

低域と高域のクロスオーバーを最適化

低域と高域に独立した保護回路を採用し、かつ最適なパッシブフィルター回路で低域と高域のクロスオーバーを実現。ワイドレンジ・高効率・高耐入力設計で信頼性の高いシステムです。

充実した取付金具(標準金具をスピーカーに付属)

製品に付属の標準金具にて、壁取付や天井取付(天井横向き取付を除く)のほか、スピーカースタンドへの取付にも柔軟に対応。また、別売の専用金具を使用すれば、パーティションへの取付(F-1000シリーズのみ)やクラスター取付など、ユニークな設置が可能に。



F-1000シリーズ

F-2000シリーズ



別売クラスター金具使用例

10cm 2Wayタイプ

F-1000B / F-1000W

(マッチングトランスなし)

希望小売価格 ¥16,800 (税抜 ¥16,000)

F-1000BM / F-1000WM 近日発売

(マッチングトランス付、屋内用)

予定価格 ¥18,900 (税抜 ¥18,000)

F-1000BMWP / F-1000WMWP 近日発売

(マッチングトランス付、屋外用)

予定価格 ¥23,625 (税抜 ¥22,500)

20cm 2Wayタイプ

F-2000B / F-2000W

(マッチングトランスなし)

希望小売価格 ¥42,000 (税抜 ¥40,000)

F-2000BM / F-2000WM 近日発売

(マッチングトランス付、屋内用)

予定価格 ¥48,300 (税抜 ¥46,000)

F-2000BMWP / F-2000WMWP 近日発売

(マッチングトランス付、屋外用)

予定価格 ¥57,750 (税抜 ¥55,000)

〈特集:防犯優良マンション認定制度 最終回〉

防犯カメラの設置場所と画角について

「防犯優良マンション認定制度」に沿ってマンション防犯設計のポイントを紹介してきたシリーズ最終回。今回は、防犯カメラの設置場所と画角の関係について説明します。

防犯カメラに大切なのは画角。

画角とは、レンズが映し出す画像の中で、実際に写る範囲を角度で示したものを言います。防犯カメラは、設置場所によって監視目的が異なります。例えば、重要防犯ポイントであるエレベーター内には人相の確認のできる画角Cを、人の出入りを確実に撮影する必要がある共用玄関入口では人物の特定ができる画角Bを、駐車場や駐輪場などの広く映して死角を少なくする必要がある場所には画角AAを使います。しかし、画角AAの画像からは人物の特徴点は解りにくいので、駐車場など広い場所は動線上を考え、入口に近い所で画角Aになるように設置を考慮するなど、目的と場所に応じて適切な画角を心掛けましょう。


防犯カメラの設置目的と画角

目的	設置場所例	画角
人相を認識したい	エレベーター内	画角C
人物を特定したい	共用玄関入口、エレベーターホール	画角B
行動を把握したい	エントランスホール、駐車場入口、駐輪場	画角A
全体を把握したい	駐車場、駐輪場など	画角AA


これらは一例であり、防犯カメラの設置目的を検討することが何より重要です。

撮影される画像の目的に合わせて、下記の4種類の画角が設定されています。

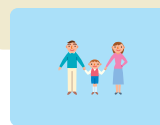
画角C(バストショット)
目的:人相の認識
人物の胸部から上が画面全体を占める大きさ



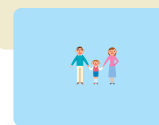
画角B(全身)
目的:人物の特定
画面全体に人物の全身が映る大きさ



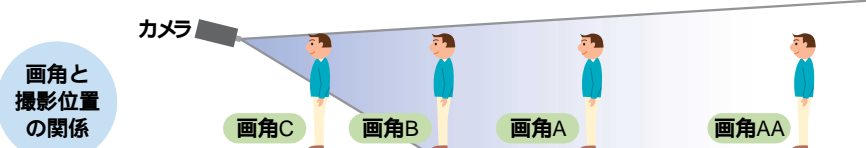
画角A
目的:行動把握
画面のほぼ1/2の高さに人物の全身が映る大きさ



画角AA
目的:全体把握
画面のほぼ1/3の高さに人物の全身が映る大きさ



カメラ



画角と撮影位置の関係

防犯カメラの適切な設置をサポートします。

以上のように、防犯カメラを設置する際には、監視場所や監視対象に応じた適切な画角の確認が重要なポイントになります。しかし、カメラを設置する前に、一体どのように映るのかを想像することは難しい作業です。TOAが独自に開発した画角シミュレーションソフトなら、被写体までの距離、カメラの設置位置、カメラやレンズ等の条件を入力することで、被写体がどのように映るのかを具体的にシミュレーションすることができます。画角シミュレーションソフトは、無料で提供しております。ご入り用の際は、TOAのホームページからダウンロードしてください。

<http://www.toa-products.com/>



まとめ

防犯性と経済性を考慮した防犯優良マンション設計のポイント

これまで4回にわたって紹介してきたポイントと、ここでは伝えていないけれど知っておいたほうが良い内容について、簡単にまとめてみました。

屋外での監視には、「照度(明るさ)」を確保。

駐車場など、屋外を監視する際には、屋外の明りは3lx以下が前提。暗さに強いデイナイトカメラをおすすめします。(NEWS OF TOA VOL.39参照)

屋内でのポイントは逆光対策と死角。

共用玄関扉などでは、逆光に強いワイドダイナミック機能を搭載したカメラは必須です。また、エレベーターかご内では、死角の少ない広角タイプカメラをおすすめします。

(NEWS OF TOA VOL.40参照)

適切な位置に、適切な画角で設置する。

防犯カメラは、見通しの補完、犯意の抑制等の観点から有効な位置、画角、台数等を検討し配置する必要があります。画角シミュレーションソフトを利用して、上手な配置を心掛けましょう。

プライバシーの保護。

特に駐車場入口では、屋外カメラはプライバシーのトラブルの可能性が高いため、マスキング機能を持つカメラを選択しましょう。

最適な画質で経済性にも配慮。

動画映像を高画質で録画すれば、その分必要となるHDD容量が大きくなります。最適な録画画質を選択することで、より長時間の記録が可能となります。